

項 目	製造品出荷額等					
	平成17年			平成18年		
	金額 (百万円)	前年比 (%)	構成比 (%)	金額 (百万円)	前年比 (%)	構成比 (%)
合 計	295,800,300	4.0	100.0	314,619,382	6.4	100.0
食料品製造業	22,677,541	▲0.5	7.7	22,529,943	▲0.7	7.2
飲料・たばこ・飼料製造業	9,665,997	▲9.2	3.3	9,596,456	▲0.7	3.1
繊維工業(衣服、その他の繊維製品を除く)	2,231,736	▲3.8	0.8	2,179,878	▲2.3	0.7
衣服・その他の繊維製品製造業	2,108,709	▲6.3	0.7	2,008,251	▲4.8	0.6
木材・木製品製造業(家具を除く)	2,497,913	▲3.8	0.8	2,502,173	0.2	0.8
家具・装備品製造業	2,161,703	▲0.5	0.7	2,152,172	▲0.4	0.7
パルプ・紙・紙加工品製造業	7,089,182	▲1.6	2.4	7,184,934	1.4	2.3
印刷・同関連業	6,945,444	▲1.3	2.3	6,776,915	▲2.4	2.2
化学工業	25,027,125	3.6	8.5	26,022,505	4.0	8.3
石油製品・石炭製品製造業	13,429,286	28.2	4.5	15,681,820	16.8	5.0
プラスチック製品製造業(別掲を除く)	10,905,871	2.5	3.7	11,402,333	4.6	3.6
ゴム製品製造業	3,098,894	3.9	1.0	3,285,079	6.0	1.0
なめし革・同製品・毛皮製造業	477,770	▲4.7	0.2	462,747	▲3.1	0.1
窯業・土石製品製造業	7,480,109	0.5	2.5	7,754,728	3.7	2.5
鉄鋼業	16,896,431	19.5	5.7	18,421,367	9.0	5.9
非鉄金属製造業	6,711,626	8.4	2.3	8,996,042	34.0	2.9
金属製品製造業	14,015,901	4.2	4.7	14,428,547	2.9	4.6
一般機械器具製造業	31,210,883	7.3	10.6	33,166,555	6.3	10.5
電気機械器具製造業	18,812,387	2.6	6.4	19,602,782	4.2	6.2
情報通信機械器具製造業	11,534,270	▲10.4	3.9	12,464,808	8.1	4.0
電子部品・デバイス製造業	18,720,153	0.3	6.3	19,653,491	5.0	6.2
輸送用機械器具製造業	53,999,911	6.5	18.3	59,790,680	10.7	19.0
精密機械器具製造業	3,784,716	▲4.8	1.3	4,066,372	7.4	1.3
その他の製造業	4,316,743	11.8	1.5	4,488,803	4.0	1.4

依然続く厳しい情勢(前年比) 大都市近郊府県は好調

平成18年工業統計速報 印刷・同関連業 出荷額は6兆7800億円

平成18年工業統計(従業者4人以上の事業所)の速報が先ごろ経済産業省より発表された。それによると印刷・同関連業の出荷額は6兆7769億1500万円(平成17年)比2・4%減となった。一方、都道府県別(10人以上)では東京、大阪、愛知の三大都市圏が3%から7%の減少を示したが、京都、岡山、宮城などで5%から21%の成長を示すなど地域によって対照的な結果となった。

18年工業統計速報によると印刷・同関連業の事業所数(4人以上)は1万6456カ所で前年比8・2%の減。従業者数は32万8002人で3・8%減、出荷額は6兆7769億1500万円(平成17年)比2・4%減となった。

まず、上位ランキングを見ると1位は東京の1兆4223億8400万円(5・2%減)、2位は埼玉の9114億9200万円(0・3%減)、3位は大阪の5547億9900万円(3・0%減)、4位は愛知の3681億4900万円(6・7%減)、5位はベスト5で唯一プラス成長の京都で2801億1200万円(9・1%増)となった。

これに続くのは福岡(4・0%減)、兵庫(2・0%増)、神奈川(0・7%増)、静岡(0・1%増)、北海道(5・8%減)だが、

5道県のうち3県がプラス成長と、こちらは比較的安定している。三大都市圏の退潮傾向に比べ、埼玉、京都、兵庫、神奈川など近郊府県の安定感が目立つ。

ベスト15位以内の状況は11位の岡山(5・0%増)、13位の宮城(21・1%増)が好調だ。岡山については1479億7300万円と10位の北海道(1507億900万円)に迫る勢い。今回の速報を全体的に見ると前年の復調傾向が若干スピードダウンしたよう

形となったが、その中でも地域間での違いがより鮮明になっている。

しかし、原材料使用額では紙等の値上げもあってか0・7%減とほぼ横這いの情勢にあり、コスト面での負担が大きくなっている。

こうした状況下では、提携、M&Aなどよりダイナミックな経営戦略の構築が印刷産業の大きな課題となるだろう。